

事務事業調査書 平成23年度	No 578	課名 区画整理課	起案者 服部啓治
事業種別 施設整備		係名 工務係	決裁者 稲垣友裕
事務事業名 桜井施設整備事業		区分 継続	業務一覧No 13
			他係名 桜井換地係
			他係業務一覧No 桜井換地係()

### 1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり	予算科目(会計)	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特
	4 市街地	予算科目(款・項・目)	5-5-5
	3 周辺市街地	総合計画以外の計画	
	1 土地区画整理事業による住環境の整備	関連する総合計画の施策	3-4-3-1-2
	1 安城碧海桜井駅周辺特定土地区画整理事業	法定受託事務	無
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの(選択的事業)		
根拠法令	有	土地区画整理法	
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開始 平成11年度	経過 12年目	終了 平成33年度
公約・議会答弁	有	H15.12議会定例会要旨:積極的に推進します。	
陳情・市民要望	無		

### 2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	桜井駅周辺地域の土地利用が	~になる	増進される。
事務事業の内容	安城市の南部地域の拠点として碧海桜井駅を中心に住商のバランスの取れた都市機能の整備を図る。			
事務事業進捗状況	道路総延長L=25,148m 整備済延長L=14,388m(進捗率:57.2% 平成23年3月末現在) (内訳)都市計画道路L=2,536m、区画道路L=10,997m、特殊道路L=1,033m			
改善・対策の履歴	特にありません			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

### 3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	662,799	592,170	922,387	609,314	941,163	545,662	894,355	
財源計 a	633,432	562,803	900,550	587,477	917,820	523,825	868,000	
財源の内訳	国庫支出金	72,100	119,350	120,550	73,800	135,440	83,870	30,750
	県支出金	0	0	7,300	6,750	5,400	13,050	3,600
	市債	150,000	90,000	200,000	90,000	200,000	100,000	200,000
	その他( )	311,332	17,363	472,700	402,898	439,495	303,771	433,650
	一般財源	100,000	336,090	100,000	14,029	137,485	23,134	200,000
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0	
職員人件費 d	29,367	29,367	21,837	21,837	23,343	21,837	26,355	
内訳 従事職員数	3.90	3.90	2.90	2.90	3.10	2.90	3.50	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

#### 4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	道路築造工事	見込(単位)	2,465.00	1,088.00	630.00	690.00
			実績b(単位)	2,472.00	998.00	636.00		
		指標名(単位)	整備延長(m)	活動の総事業費f 実績	252,917	367,961	319,917	
			単位コストg=f÷b 実績	102.31	368.70	502.86		
	活動②	活動名(活動内容)	排水路築造工事	見込(単位)	685.00	604.00	435.00	100.00
			実績b(単位)	904.00	327.00	188.00		
		指標名(単位)	整備延長(m)	活動の総事業費f 実績	121,002	34,477	17,380	
			単位コストg=f÷b 実績	133.85	105.30	92.64		
	活動③	活動名(活動内容)	整地工事	見込(単位)	31,800.00	13,100.00	13,700.00	17,000.00
			実績b(単位)	28,503.00	11,172.00	16,237.00		
		指標名(単位)	整備面積(m <sup>2</sup> )	活動の総事業費f 実績	55,523	31,107	37,611	
			単位コストg=f÷b 実績	1.95	2.78	2.32		

#### 5(1) 成果の目標と実績

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
成果	成果1	指標名・指標式(単位)	家屋移転率(%) 移転済家屋数/総移転家屋数×100(%)	見込(単位)	29.10	35.00	42.10	49.70
			実績(単位)	33.10	34.30	42.30		
		達成状況	達成	未達成	達成			
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				
	成果2	指標名・指標式(単位)	道路築造率(%) 道路築造済延長/道路総延長×100(%)	見込(単位)	51.00	55.40	57.60	60.00
			実績(単位)	51.10	55.10	57.20		
		達成状況	達成	未達成	未達成			
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				

#### 5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	桜井駅前にある1号緑地の整備が完了し、駅前の都市景観が格段に向上しました。	

#### 6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	<p>活動① 幹線道路の整備が多かったため、単位コストはH21年度より上がりました。</p> <p>活動② 幹線排水路の規模が小さかったため、単位コストはH21年度より下がりました。</p> <p>活動③ 造成盛土高が小さかったため、単位コストはH21年度より下がりました。</p>
成果1,2	家屋移転率及び道路築造率ともに、概ね目標どおり成果を上げることができました。

#### 7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
	H23年度においても工事発注の平準化を図り、工事による交通渋滞を極力防ぐとともに、コスト縮減に努めます。

#### 8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	今後は、城向地区及び桜西地区といった既存集落内の工事が中心となりますので、地元町内会と十分調整を図りながら、工事の円滑な推進に努めます。